

平成28年度  
在宅サービス事業者  
運営状況調査

調査票G 短期入所生活介護

◇「手書きで記入・投函」の方法により回答する場合

⇒ この調査票に記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

◇「エクセルに入力・メール送付」の方法により回答する場合

⇒ 調査票を受託会社のホームページに掲載しておりますので、以下のURL[①]にアクセスし、貴事業所のID番号とパスワード[②]を入力して該当する調査票(エクセル)をダウンロードしてください。ご入力後は、電子メールにて受託会社[③]に送付してください。

①調査票掲載URL <http://www.gr-eco.co.jp/qsdl/>

②貴事業所ID及びパスワード 上記宛名ラベルに記載

③調査票送付先 株式会社グリーンエコ東京事務所 E-mail: [tokyo.kaigo@gr-eco.co.jp](mailto:tokyo.kaigo@gr-eco.co.jp)

■■■ お忙しいところ恐縮ですが、**11月14日(月曜日)までに**投函またはメールにて御回答をお願いします ■■■

<ご記入にあたってのお願い>

- ★ 同一施設・事業所名で複数のサービスを運営されている場合であっても、短期入所生活介護の提供状況について、お答えください。
- ★ 時点の指定がないものについては、すべて平成28年10月1日現在の状況をお答えください。
- ★ それぞれの質問にしたがって、あてはまる番号に○印をつけてください。また、◎印もつけていただく欄や、数字や具体的な内容をご記入いただく欄もあります。
- ★ 「その他」を選んだ場合は、( )の中に、具体的な内容をご記入ください。

<調査に関するお問い合わせ先>

【東京都委託先】

株式会社グリーンエコ 東京事務所 東京都在宅サービス調査窓口

〒114-0012 東京都北区田端新町3-14-4 NOZAKIビル201

電話:03-5901-8686 FAX:03-6807-7720 E-mail: [tokyo.kaigo@gr-eco.co.jp](mailto:tokyo.kaigo@gr-eco.co.jp)

現在の活動状況

貴事業所の現在(平成28年10月1日時点)の活動状況を教えてください。(1つに○)

1. 活動中

2. 休止

3. 廃止

※「2」・「3」の場合、今回の調査に記入していただく必要はありませんので、このまま調査票を返送してください。

## I. 基本情報

問1 貴事業所の介護保険法による指定年月を教えてください。(数字を記入)

平成  年  月

問2 貴事業所の定員を教えてください。(数字を記入)

【定員】  人

問3 貴事業所の建物の所有状況を教えてください。(1つに○)

- |         |           |           |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 自己所有 | 2. 賃貸(有償) | 3. 賃貸(無償) |
|---------|-----------|-----------|

問4 貴事業所と同一建物または同一敷地内で運営している事業はありますか。「あり」と答えた方は、その事業の種類も教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                |                                   |                   |
|----------------|-----------------------------------|-------------------|
| 1. あり ⇒        | (介護保険サービス ※予防サービスも含む)             |                   |
| .....<br>2. なし | 1. 居宅介護支援                         | 2. 訪問介護           |
|                | 3. 訪問入浴                           | 4. 訪問看護           |
|                | 5. 訪問リハビリテーション                    | 6. 通所介護           |
|                | 7. 通所リハビリテーション                    | 8. 短期入所療養介護       |
|                | 9. 居宅療養管理指導                       | 10. 福祉用具貸与・販売     |
|                | 11. 特定施設入居者生活介護(地域密着型を含む)         |                   |
|                | 12. 夜間対応型訪問介護                     |                   |
|                | 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護              |                   |
|                | 14. 地域密着型通所介護                     | 15. 認知症対応型通所介護    |
|                | 16. 小規模多機能型居宅介護                   | 17. 看護小規模多機能型居宅介護 |
|                | 18. 認知症対応型共同生活介護                  |                   |
|                | 19. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む)            |                   |
|                | 20. 介護老人保健施設                      | 21. 介護療養型医療施設     |
|                | 22. その他介護保険サービス( )                |                   |
|                | (その他の事業)                          |                   |
|                | 23. 有料老人ホーム(「11」に該当する場合も含む)       |                   |
|                | 24. サービス付き高齢者向け住宅(「12」に該当する場合も含む) |                   |
|                | 25. その他の高齢者向けの住宅                  |                   |
|                | 26. その他の介護保険サービス以外の介護関連のサービス      |                   |
|                | 27. 子ども向け施設やサービス                  |                   |
|                | 28. 医療関連施設                        | 29. 障害者関連施設       |
|                | 30. 販売店                           | 31. カフェや食事処       |
| 32. 一般賃貸住宅     |                                   |                   |
| 33. その他( )     |                                   |                   |

## Ⅱ. サービス提供の状況

問5 貴事業所のサービス提供曜日を教えてください。

【サービス提供曜日】(あてはまるものすべて○)

1. 月曜日	2. 火曜日	3. 水曜日	4. 木曜日
5. 金曜日	6. 土曜日	7. 日曜日	8. 祝日

問6 貴事業所の平成28年9月の1か月間のサービス提供日数を教えてください。(数字を記入)

【9月(1か月間)のサービス提供日数】  日 / 30日中

問7 平成28年9月の利用者数について、実人数と延べ人数をそれぞれ要介護度別に教えてください。  
※登録者数ではなく、実際に9月に利用があった人数を記入してください。(それぞれ数字を記入)

① 要支援1	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
② 要支援2	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
③ 要介護1	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
④ 要介護2	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
⑤ 要介護3	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
⑥ 要介護4	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
⑦ 要介護5	実人数	<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人
⑧ 合計		<input type="text"/>	人、延べ人数	<input type="text"/>	人

問8 貴事業所と居室の形態を教えてください。

【事業所の形態】(1つに○)

1. 単独型	2. 併設型
--------	--------

【居室の形態】(1つに○)

1. ユニット型個室	2. ユニット型準個室
3. 従来型個室	4. 多床室

問9 平成28年9月において算定した加算(減算)の状況と、加算については、今後の意向を教えてください。  
(1か月間のうち、1件でも算定した場合は「算定あり」を選択してください。)

※「算定あり」と答えた方は、実利用者数に占める算定割合を記入してください。(数字を記入)

※「算定なし」の加算については、その理由を選択してください。(それぞれあてはまるものすべてに○)

① 専従の機能訓練指導員を配置している場合の加算	
1. 算定あり	【算定なしの理由】
2. 算定なし・算定意向あり	⇒ 1. 算定要件を満たすことが困難であるから
3. 算定なし・算定意向なし	2. 算定する利用者の負担が増加するから
	3. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
	4. その他( )

② 個別機能訓練加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

③ 看護体制加算

1. 算定あり ⇒ 算定種類を選択  ( I )  ( II )
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定する利用者の負担が増加するから
  3. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  4. その他( )

④ 医療連携強化加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑤ 夜間職員配置加算

1. 算定あり ⇒ 算定種類を選択  ( I )  ( II )
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定する利用者の負担が増加するから
  3. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  4. その他( )

⑥ 認知症行動・心理症状緊急対応加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑦ 若年性認知症利用者受入加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑧ 利用者に対して送迎を行う場合の加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑨ 緊急短期入所受入加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑩ 療養食加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑪ 在宅中重度受入加算

1. 算定あり ⇒ 実利用者数に占める割合  %
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件に該当する利用者がいなかったから
  3. 算定する利用者の負担が増加するから
  4. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  5. その他( )

⑫ サービス提供体制強化加算

1. 算定あり ⇒ 算定種類を選択  (Ⅰ)イ (Ⅰ)ロ (Ⅱ) (Ⅲ)
2. 算定なし・算定意向あり ⇒ 【算定なしの理由】
3. 算定なし・算定意向なし ⇒
1. 算定要件(資格者要件または勤続年数要件)を満たすことが困難であるから
  2. 算定要件(資格者要件または勤続年数要件を除く要件)を満たすことが困難であるから
  3. 利用者の負担が増加するから
  4. 体制加算に対する利用者の理解を得られないから
  5. 算定要件を満たすためにかけるコストに見合う収益確保が見込めないから
  6. その他( )



問10 ①・②について、実施の有無を教えてください。「あり」と答えた方は実施開始時期や具体的な内容を教えてください。(あてはまるものに○、それぞれ数字等を記入)

① 認知症である要介護者への特性に応じたサービスの提供			
1. あり	⇒	実施開始時期	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
2. なし		具体的な内容	<input type="text"/>

② 若年性認知症である要介護者への特性に応じたサービス提供			
1. あり	⇒	実施開始時期	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
2. なし		具体的な内容	<input type="text"/>



問11 介護保険外(自費)サービス(インフォーマルサービス)について、実施の有無と今後の意向を教えてください。  
 「あり」と答えた方は、提供している内容と、実施開始時期、実施時間帯、利用料を教えてください。  
 【実施の有無】(1つに○)

1. あり ⇒下記内容へ      2. なし・実施意向あり      3. なし・実施意向なし

【提供内容】 (あてはまるものすべてに○)	【実施開始時期】 (数字を記入)	【実施時間帯(※)】 (あてはまるものすべてに○)	【利用料】 (数字を記入、あてはまる単位に○)
1. 利用者の買い物代行	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
2. 利用者の配食サービス	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
3. 利用者の自宅での食事支援 (調理、配膳、下膳)	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
4. 利用者宅の清掃・利用者の衣類の洗濯	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
5. 利用者の通院支援	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
6. 利用者のその他の外出支援 (買い物、社会参加、その他)	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
7. 在宅生活に関すること、家族による介護に関することの相談	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
8. 利用者家族に対する生活支援サービス 具体的に( )	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回
9. その他保険外(自費)の生活支援サービス 具体的に( )	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1. 早朝 2. 日中 3. 夜間 4. 深夜	<input type="text"/> 円 料金の単位 <input type="text"/> 月 / 週 / 日 / 回

※「1.早朝」…6～8時、「2.日中」…8～18時、「3.夜間」…18～22時、「4.深夜」…22～翌6時

問12 事業の運営にあたっての課題を教えてください。(最も課題と思われるもの1つに◎、課題と思われるものすべてに○)

1. 管理者の確保・定着	2. 看護職員の確保・定着
3. 介護職員の確保・定着	4. 利用者の確保
5. 運転資金の確保	6. 事業所内の職員間の連携
7. 介護支援専門員(ケアマネジャー)との連携	8. 事業所外の地域の事業所や住民活動等との連携
9. 職員面でのサービスの質の確保・向上	10. 器具等の物品面でのサービスの質の確保・向上
11. 営業時間やインフォーマルサービス提供等のソフト面でのサービスの質の確保・向上	
12. 利用者の家族への支援	
13. その他( )	

問13 上記課題の対策として工夫していることを教えてください。


### Ⅲ. 職員の処遇及び勤務状況

問14 事業所の従業者について、人数、平均年齢、平均勤続年数、平均賃金を職種別・雇用形態別に教えてください。また、派遣職員について、人数、平均派遣期間、派遣会社に支払った金額を職種別に教えてください。(それぞれ数字を記入)

- ※ 該当する職員の配置がない場合は、必ず「0」人と記入してください。
- ※ 複数の業務を兼務している職員については、最も勤務時間が多い業務のみに算入してください。なお、管理者については、兼務状況にかかわらず「管理者」の欄に記入してください。
- ※ 「正規」… 正規雇用の職員であり、雇用期間の定めがない者  
「非正規」… 非正規雇用の職員であり、雇用期間の定めがある者(「パート」「アルバイト」「契約社員」等) ※この設問では派遣社員や業務委託先の職員は含みません。  
「派遣」… 人材派遣会社と雇用契約を締結しており、労働者派遣法により派遣されている者
- ※ 「常勤換算人数」については、以下のとおり計算をした上で記入をお願いします。

$$\text{常勤換算人数} = \frac{\text{従業者の1週間の勤務延時間数(注)}}{\text{事業所が定める常勤の従業者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)}}$$

(注)・残業時間は含みません。

- ・正規雇用の方については、就業規則に基づく有給休暇等の取得時間は勤務時間に含みます。
- ・別の事業所や併設サービスに従事している時間は含みません。
- ・同一事業所において、一体的に提供しているサービス(介護予防サービス等)に従事している時間は含みます。

- ※ 「勤続年数」は、その職種で、貴事業所において勤務している年数として計算してください。
- ※ 「賃金」は、労働協約、就業規則等によってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される現金給与額(正規の場合は1月あたりの額、非正規の場合は1時間あたりの額)を記入してください。
- ※ 「派遣」の「平均派遣期間」は、事業所の実態にあわせて単位を「日」、「月」、「年」から選択して(採用した単位に○をつけてください。)それに応じて期間を記載してください。
- ※ 「派遣会社に支払った金額」は、平成28年9月において契約していた派遣会社に対して、支払った総額(複数の派遣会社と契約していた場合は合計)を記入してください。年単位で支払っている場合も、12で除した数を算出するなどして、月額で記入してください。
- ※ 小数点第一位まで記入してください(小数点以下第2位を四捨五入)。「0.1」に満たない場合は、「0.1」と記入してください。

<b>① 管理者</b>					
		【年齢】	【勤続年数】	【賃金】	
		□ □ □ □	□ □ □ □	□ □ □ □ □ □	
		歳	年	円	
<b>② 医師</b>					
		【職員数】	【年齢】	【勤続年数】	【賃金】
正規	□ □ □ □	人	□ □ □ □	□ □ □ □	□ □ □ □ □ □
	常勤換算	人	歳	年	円/月
非正規	□ □ □ □	人	□ □ □ □	□ □ □ □	□ □ □ □ □ □
	常勤換算	人	歳	年	円/時間
		【職員数】	【平均派遣期間】		【派遣会社に支払った金額】
派遣	□ □ □ □	人	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □		□ □ □ □ □ □
	常勤換算	人	日 / 月 / 年		円/月

③ 生活相談員					
正規	【職員数】	人	【年齢】	【勤続年数】	【賃金】
	常勤換算	人	歳	年	円/月
非正規	常勤換算	人	歳	年	円/時間
	常勤換算	人			
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		【派遣会社に支払った金額】
	常勤換算	人	日 / 月 / 年		円/月

④ 看護職員					
正規	【職員数】	人	【年齢】	【勤続年数】	【賃金】
	常勤換算	人	歳	年	円/月
非正規	常勤換算	人	歳	年	円/時間
	常勤換算	人			
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		【派遣会社に支払った金額】
	常勤換算	人	日 / 月 / 年		円/月

⑤ 介護職員					
正規	【職員数】	人	【年齢】	【勤続年数】	【賃金】
	常勤換算	人	歳	年	円/月
非正規	常勤換算	人	歳	年	円/時間
	常勤換算	人			
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		【派遣会社に支払った金額】
	常勤換算	人	日 / 月 / 年		円/月

⑥ 栄養士					
正規	【職員数】	人	【年齢】	【勤続年数】	【賃金】
	常勤換算	人	歳	年	円/月
非正規	常勤換算	人	歳	年	円/時間
	常勤換算	人			
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		【派遣会社に支払った金額】
	常勤換算	人	日 / 月 / 年		円/月

⑦ 機能訓練指導員								
正規	【職員数】	人	【年齢】	歳	【勤続年数】	年	【賃金】	円/月
	常勤換算	人						
非正規	【職員数】	人	【年齢】	歳	【勤続年数】	年	【賃金】	円/時間
	常勤換算	人						
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		日 / 月 / 年		【派遣会社に支払った金額】	円/月
	常勤換算	人						

⑧ その他従業者(事務員など)								
正規	【職員数】	人	【年齢】	歳	【勤続年数】	年	【賃金】	円/月
	常勤換算	人						
非正規	【職員数】	人	【年齢】	歳	【勤続年数】	年	【賃金】	円/時間
	常勤換算	人						
派遣	【職員数】	人	【平均派遣期間】		日 / 月 / 年		【派遣会社に支払った金額】	円/月
	常勤換算	人						

問15 職員の保有資格について、雇用形態別に人数(実人数)を記載してください。(それぞれ数字を記入)

※ この設問では、派遣職員を含めた人数を記入してください。

(業務委託先の職員の人数は含めないでください)

※ 複数の資格を保有している職員については、保有資格すべてに算入してください。

① 介護福祉士	正規		人	・	非正規		人
② 実務者研修修了者 <small>※介護職員基礎研修課程修了者・訪問介護員一級課程修了者を含む</small>	正規		人	・	非正規		人
③ 介護職員初任者研修修了者 <small>※訪問介護員二級課程修了者を含む</small>	正規		人	・	非正規		人
④ 介護支援専門員	正規		人	・	非正規		人
⑤ 認定特定行為業務従事者 <small>※たん吸引等</small>	正規		人	・	非正規		人
⑥ 理学療法士	正規		人	・	非正規		人
⑦ 作業療法士	正規		人	・	非正規		人
⑧ 言語聴覚士	正規		人	・	非正規		人
⑨ 看護師及び准看護師	正規		人	・	非正規		人
⑩ 柔道整復師	正規		人	・	非正規		人
⑪ あん摩マッサージ指圧師	正規		人	・	非正規		人
⑫ 社会福祉士	正規		人	・	非正規		人
⑬ 社会福祉主事	正規		人	・	非正規		人
⑭ 精神保健福祉士	正規		人	・	非正規		人
⑮ その他( )	正規		人	・	非正規		人

問16 職員の募集方法として利用しているものを教えてください。(実施(利用)している方法すべてに○、最も採用実績の高い方法ひとつだけに◎)

- |                                   |                        |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 東京都福祉人材センター                    | 2. ハローワーク              |
| 3. 福祉人材バンク                        | 4. 民間の人材紹介会社(有料のものに限る) |
| 5. 学校(福祉専門学校等)との連携                |                        |
| 6. 自治体や民間団体が主催する就職説明会の参加          |                        |
| 7. 求人広告(新聞折込・インターネット・フリーペーパー等)に掲載 |                        |
| 8. 職員・知人などからの個人的紹介                | 9. 自社のホームページの活用        |
| 10. 人材派遣会社との契約                    |                        |
| 11. その他( )                        |                        |

問17 職員に対する資格取得への支援について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 資格取得のための費用(授業料、受験料等)について補助を行っている |
| 2. 資格取得のために勤務日数・時間について便宜を図っている      |
| 3. その他( )                           |
| 4. 特に支援は行っていない                      |

問18 職員研修の実施状況について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※職場内…事業所内や法人内で実施する研修 ※職場外…外部の団体や研修機関が実施する研修

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 職場内の介護・看護技術に関する研修 | 2. 職場外の介護・看護技術に関する研修 |
| 3. 職場内の資格取得に関する研修    | 4. 職場外の資格取得に関する研修    |
| 5. 職場内のその他研修         | 6. 職場外のその他研修         |

問19 キャリアパスの導入状況と今後の意向について教えてください。(1つに○)

「導入している」と答えた方は、キャリア段位制度の活用有無(1つに○)と、活用している場合はレベル認定者数・アセッサー数を教えてください。(数字を記入)

1. 導入している	⇒	【キャリア段位制度】	
2. 導入していないが、導入意向はある。		「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」を活用していますか。	
		1. 活用している	⇒ ・レベル認定者数 <input type="text"/> 人
3. 導入しておらず、導入意向はない。		2. 活用していない	⇒ ・アセッサー数 <input type="text"/> 人

問20 人材を確保するにあたっての課題として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべてに○、最も困難な課題1つだけに◎)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 人材の募集・採用に関するノウハウやシステムが確立しておらず、どのような募集・採用活動を行うのが効果的か分からない | 2. 求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない                     |
| 3. 応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない                               | 4. 夜勤対応やオンコール対応できる人材が確保できない                        |
| 5. 人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかる                           | 6. 求人広告の掲載や求人に係るホームページの維持管理費等の採用コスト(左記5を除く)がかかりすぎる |
| 7. 離職が多い  | 8. 補助的な業務等を担うボランティア等が確保できない                        |
| 9. その他( )   | 10. 特に問題はない  |

問21 人材を育成するにあたっての課題として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべてに○、最も困難な課題1つだけに◎)

- |  |
|--|
| 1. 人材育成のための費用が十分に確保できない                            |
| 2. 人材育成を行う時間的な余裕がない                                |
| 3. 職員の経験・スキル等の差が大きくパターン化が難しいため、集合研修等の効率的な人材育成が図れない |
| 4. 指導できる職員が少ない                                     |
| 5. 育成しても職員が退職してしまい、技術を持った職員が定着しない                  |
| 6. その他( )  |
| 7. 特に問題はない   |

問22 人材を定着させるにあたっての課題として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべてに○、最も困難な課題1つだけに◎)

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 採用面接時のマッチング向上                           | 2. 職員の専門性・適正・能力等を考慮した人材配置 |
| 3. 労働条件の改善(有給休暇の取得、労働時間の柔軟性等)              |                           |
| 4. 職場環境の改善(職場でのコミュニケーションの円滑化、メンタルヘルスケア対策等) |                           |
| 5. 多様な研修機会の確保                              | 5. 資格取得支援の充実              |
| 7. 同業他事業所と比べて高い賃金設定                        | 8. 能力や成果に応じた昇格・昇給体系       |
| 9. その他( )                                  | 10. 特に問題はない               |

## IV. 収支の状況について

問23 平成28年9月の貴事業所(短期入所生活介護)の収支の状況を教えてください。(1つに○)

1. 黒字	2. 収支均衡	3. 赤字
-------	---------	-------

問24 平成26年9月の収益を「100」とした場合、平成28年9月の収益はおおよそどのくらいですか。(数字を記入)

《計算例》 平成26年9月の収益が「30万円」(A)、平成28年9月の収益が「50万円」(B)  
⇒「167」(B×100÷A)

平成26年9月と比べて

※平成26年9月に運営をしていなかった場合は、「×」を記入してください。また、問25は回答せず、問26にお進みください。

問25 問23で回答した収益の変化の要因(平成27年度報酬改定後の変化の要因)について、あてはまるものを教えてください。(増要因・減要因それぞれについて、あてはまるものすべてに○、最も大きな要因1つだけに◎)

【増要因】	【減要因】
1. 介護報酬(基本サービス費)の改定による増収	1. 介護報酬(基本サービス費)の改定による減収
2. 加算(減算)の改定による増収	2. 加算(減算)の改定による減収
3. 地域区分の改定による増収	3. 地域区分の改定による減収
4. 利用者数の増加	4. 利用者数の減少
5. 人件費の減少	5. 人件費の増加
6. 人件費以外の雇用管理に関する経費の減少	6. 人件費以外の雇用管理に関する経費の増加
7. 設備投資に関する経費の減少	7. 設備投資に関する経費の増加
8. その他( )	8. その他( )

問26 平成28年9月の支出における人件費(※)の割合を教えてください。(1つに○)

(※)介護・看護職員等の直接待遇職員だけではなく、事務員・調理員・ドライバー等も含めたすべての従業者に係る人件費

1. 90%以上	2. 80%以上	3. 70%以上	4. 60%以上
5. 50%以上	6. 40%以上	7. 40%以下	

問27 平成26年9月の人件費(※)を「100」とした場合、平成28年9月の人件費はおおよそどのくらいですか。(数字を記入)

(※)介護・看護職員等の直接待遇職員だけではなく、事務員・調理員・ドライバー等も含めたすべての従業者に係る人件費

《計算例》 平成26年9月の人件費が「200万円」(A)、平成28年9月の人件費が「250万円」(B)  
⇒「125」(B×100÷A)

平成26年9月と比べて

※平成26年9月に運営をしていなかった場合は、「×」を記入してください。





問28 貴事業所でインフォーマルサービスを実施している場合(問11で「1. あり」を選択した場合)、当該インフォーマルサービスを含めた平成28年9月の収支の状況を教えてください。(1つに○)

1. 黒字	2. 収支均衡	3. 赤字
-------	---------	-------

問29 収益確保のための取組として該当するものを教えてください。(最も重点的に取組んでいる項目1つに◎、取組んでいる項目すべてに○)

1. 重度者対応の強化	2. 利用者ニーズの把握
3. 職員の資質向上	4. 介護保険事業以外のサービス(有償)を提供
5. 地域貢献活動等の実施によるイメージの向上	6. 事業所の規模拡大
7. 事業所の規模縮小	
8. その他( )	

## V. 地域密着型サービスについて

問30 以下の①～④の地域密着型サービスに関して、同一敷地や隣接地における事業実施予定(参入意向)を教えてください。(1つに○)  
 また、【参入予定】で「1」「2」「3」を選択した場合は、参入を想定した場合の課題と思われるものを教えてください。(最も課題と思われる項目1つに◎、課題と思われる項目すべてに○)

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<p>【参入予定】</p> <p>1. 実施する予定</p> <p>2. 予定はないが実施したい ⇒</p> <p>3. 実施する予定はない</p> <p>4. 既に実施している</p>	<p>【参入を想定した場合の課題】</p> <p>1. 管理者の確保</p> <p>2. 看護師の確保</p> <p>3. オペレーターの確保</p> <p>4. 介護職員の確保</p> <p>5. 連携先となる訪問看護事業所の確保</p> <p>6. 利用者の確保</p> <p>7. 事業所の確保(事業所の場所の確保)</p> <p>8. 開設資金の確保</p> <p>9. 介護職員と看護職員の連携に関するノウハウの不足</p> <p>10. その他( )</p>

② 小規模多機能型居宅介護	
<p>【参入予定】</p> <p>1. 実施する予定</p> <p>2. 予定はないが実施したい ⇒</p> <p>3. 実施する予定はない</p> <p>4. 既に実施している</p>	<p>【参入を想定した場合の課題】</p> <p>1. 管理者の確保</p> <p>2. 看護師の確保</p> <p>3. 介護職員の確保</p> <p>4. 利用者の確保</p> <p>5. 事業所の確保(事業所の場所の確保)</p> <p>6. 開設資金の確保</p> <p>7. その他( )</p>



③ 看護小規模多機能型居宅介護

【参入予定】

1. 実施する予定
2. 予定はないが実施したい ⇒
3. 実施する予定はない
4. 既に実施している

【参入を想定した場合の課題】

1. 管理者の確保
2. 看護師の確保
3. 介護職員の確保
4. 利用者の確保
5. 事業所の確保(事業所の場所の確保)
6. 開設資金の確保
7. その他( )

④ 認知症対応型共同生活介護

【参入予定】

1. 実施する予定
2. 予定はないが実施したい ⇒
3. 実施する予定はない
4. 既に実施している

【参入を想定した場合の課題】

1. 管理者の確保
2. 看護師の確保
3. 介護職員の確保
4. 利用者の確保
5. 事業所の確保(事業所の場所の確保)
6. 開設資金の確保
7. その他( )

